

## 記者発表資料

大阪経済記者クラブ会員各位

大阪商工会議所  
公益社団法人 関西経済連合会

### 「第45回経営・経済動向調査」結果について

大阪商工会議所と関西経済連合会は、会員企業の景気判断や企業経営の実態について把握するため、四半期ごとに標記調査を共同で実施している。今回は2月下旬から3月上旬に、1,749社を対象に行い、498社から回答を得た（有効回答率28.5%）。

それによると、足もとの1～3月期は国内景気・自社業況判断ともにマイナス局面が継続。特に自社業況判断については、前回調査（平成23年10～12月期）より悪化した。先行きは国内景気・自社業況判断ともプラス転換が見込まれる。

#### 【調査結果の特徴】

#### 1 国内景気について ～足もとのマイナス幅は大きく改善

- 1～3月期の国内景気について、前期と比べ「上昇」と見る回答は16.6%、「下降」と見る回答は25.2%。この結果、BSIは▲8.5で、4四半期連続のマイナスとなった。ただし、前回調査（BSI▲26.4）より、マイナス幅は大きく改善した。
- 先行きについては、4～6月期に14.3と2ケタのプラスに転じる見通し。

#### 2 自社業況について ～前回調査より悪化

- 足もとの自社業況の総合判断については、前期と比べ「上昇」と見る回答が20.1%、「下降」と見る回答が32.3%。この結果、BSIは▲12.2で、17四半期連続のマイナスとなり、前回調査（BSI▲9.4）より悪化した。
- 先行きについては、4～6月期が1.0、7～9月期が10.1と、プラスに転じる見込み。
- 企業規模別に見ると、足もとは大企業・中小企業ともにマイナスであるものの、大企業は4～6月期に12.2とプラス入りが見込まれる。他方、中小企業は4～6月期は▲7.7、7～9月期が1.8と、大企業より業況回復の速度に遅れが生じる見通し。

#### 3 新卒採用について ～秋採用については賛成が反対を幾分上回る

- 平成24年度入社分の新卒採用について、採用活動を実施していない企業は約4割（39.0%）にのぼった。実施している企業は6割弱（58.6%）。
- 平成25年度入社分の新卒採用については、行わない予定の企業は全体のおよそ3分の1（34.5%）。実施予定の企業は6割強（62.4%）。
- 大学の卒・入学時期の秋への移行に伴う新卒者の秋採用については、「賛成」との回答が合わせて3割弱（28.7%）。「反対」との回答は2割強（22.1%）。賛成が反対をやや上回る結果となった。

以上

# 第45回経営・経済動向調査

大阪商工会議所 公益社団法人 関西経済連合会

## <目次>

1. 国内景気	2
2. 自社業況 総合判断	3
3. 自社業況 個別判断	4
4. 新卒採用について	8
参考(BSI値の推移)	11
参考(国内景気判断と自社業況判断の推移)	12

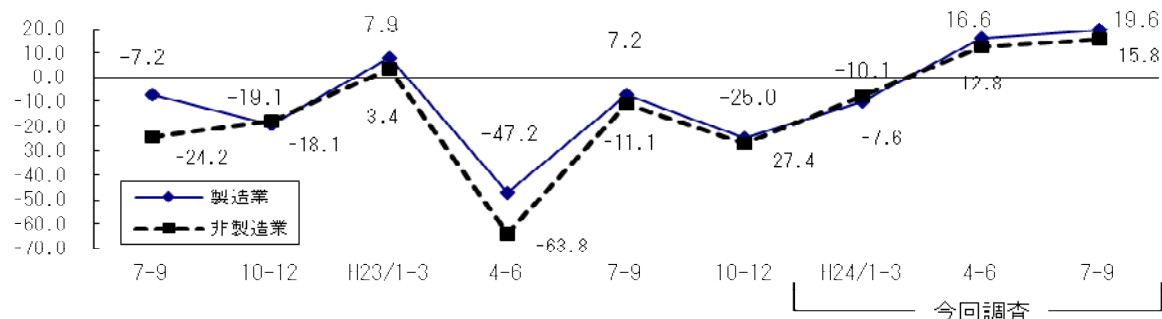
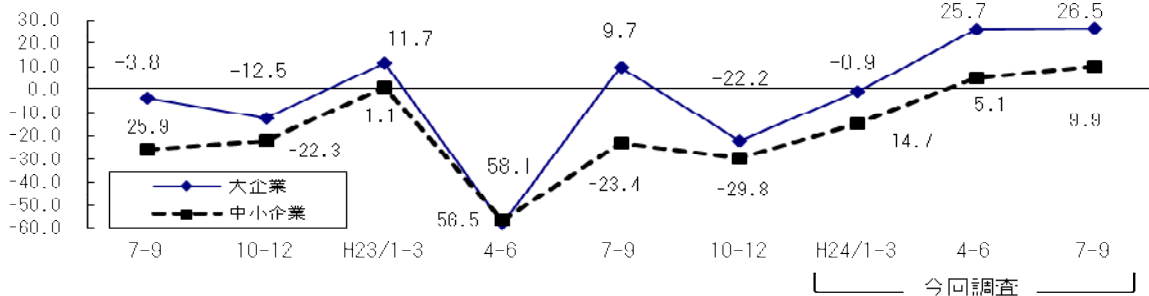
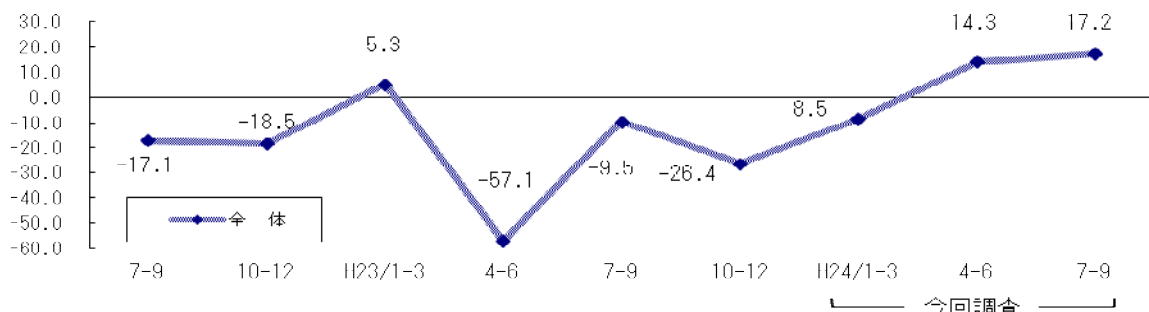
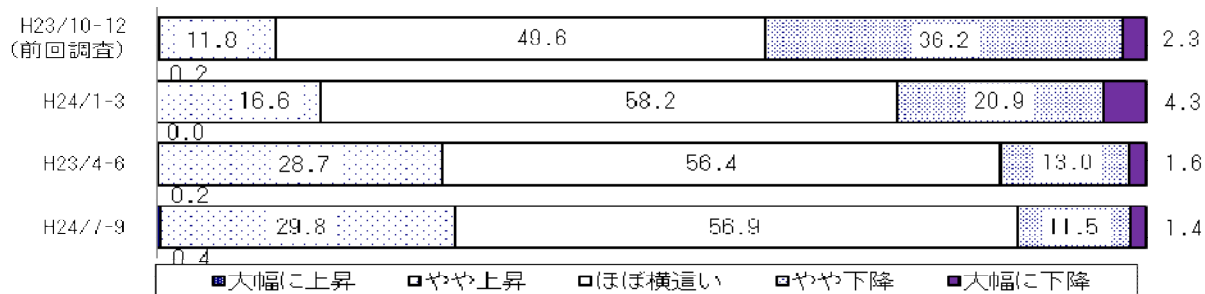
## <概要>

- ▶調査対象：大阪商工会議所・関西経済連合会(甲種会員)の会員企業 1,749社
- ▶調査時期：平成24年2月21日～3月6日
- ▶調査方法：調査票の発送・回収ともFAXによる
- ▶回答状況：498社 (有効回答率 28.5%) (大企業：221社、中小企業：277社)  
 企業区分は、中小企業基本法に準拠し、次を中小企業とする。  
 (製造業他：資本金3億円以下、卸売業：資本金1億円以下、小売業・サービス業：資本金5千万円以下)
- ▶規模・業種別回答状況：

	製造業			非製造業			
	大	中	計	大	中	計	
食料品	2	6	8	卸売業	26	66	92
繊維工業・製品	5	4	9	小売業	7	5	12
パルプ・紙製品	1	5	6	出版・印刷	1	10	11
化学工業	22	15	37	建設業	24	31	55
鉄鋼	8	8	16	不動産業	8	6	14
非鉄金属・金属製品	11	15	26	運輸・通信業	8	15	23
一般機械器具	7	8	15	金融・保険業	11	0	11
電気機械器具	16	8	24	電気・ガス・熱供給・水道業	3	2	5
輸送用機械器具	5	2	7	サービス業	40	45	85
精密機械器具	3	3	6				
その他製造業	13	23	36				
計	93	97	190	計	128	180	308

# 1. 国内景気

**BSI(1～3月期)は▲8.5。前期(平成24年10～12月期)より大きく改善。**



## <足もと>

平成24年1～3月期における国内景気を、前期(平成23年10～12月期)と比べ「上昇」と見る回答は16.6%。「下降」と見る回答は25.2%。この結果、BSI(「上昇」回答割合-「下降」回答割合、以下同じ)は▲8.5で、4四半期連続のマイナス。ただし、前期(平成23年10～12月期:▲26.4)と比べると、マイナス幅は大きく改善した。

## <先行き>

4～6月期は14.3、7～9月期は17.2と、先行きはプラス局面入りが見込まれる。

## <規模別>

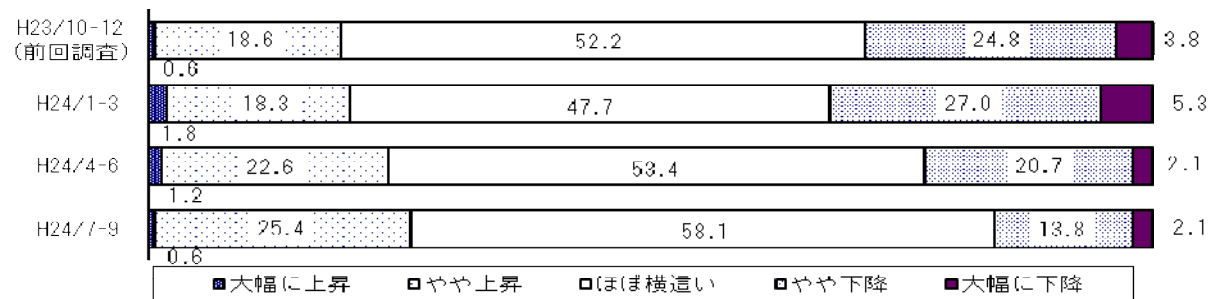
大企業・中小企業とも足もとはマイナスであるものの、先行きはプラスで推移する見通し。ただし、企業規模によってプラス幅には差が生じている。

## <業種別>

業種別の差異はあまり見られず、製造業・非製造業ともに足もとはマイナス。先行きはプラスとなる見通し。

## 2. 自社業況 総合判断

BSI(1~3月期)は▲12.2で、前期より悪化。

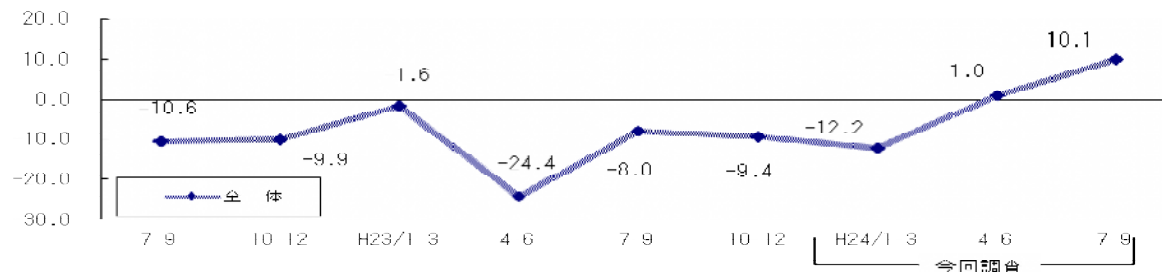


### <足もと>

1~3月期における自社業況の総合判断について、前期と比べ「上昇」と見る回答は20.1%、「下降」と見る回答は32.3%。この結果、BSIは▲12.2で、17四半期連続のマイナス。前期(▲9.4)より悪化した。

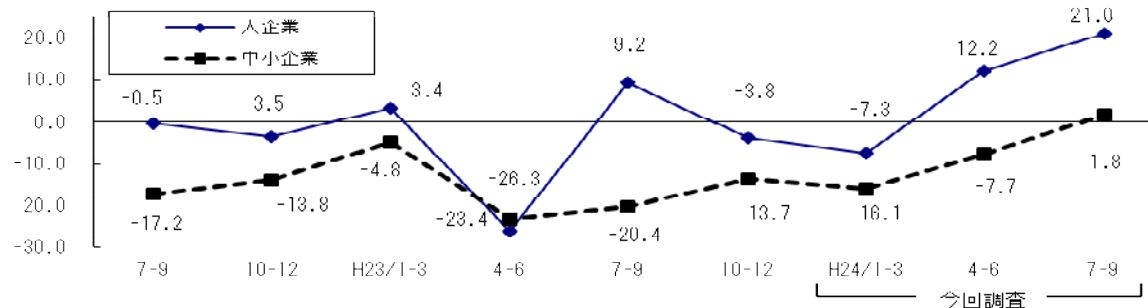
### <先行き>

4~6月期のBSIは1.0、7~9月期は10.1と、プラスに転じる見込み。



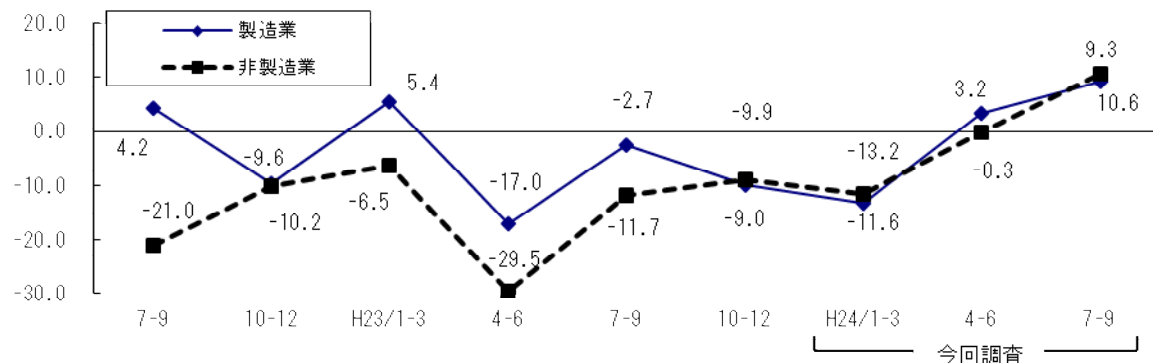
### <規模別>

企業規模別では、大企業は1期先にプラスに転じるものの、中小企業は▲7.7とマイナス局面の継続が見込まれる。

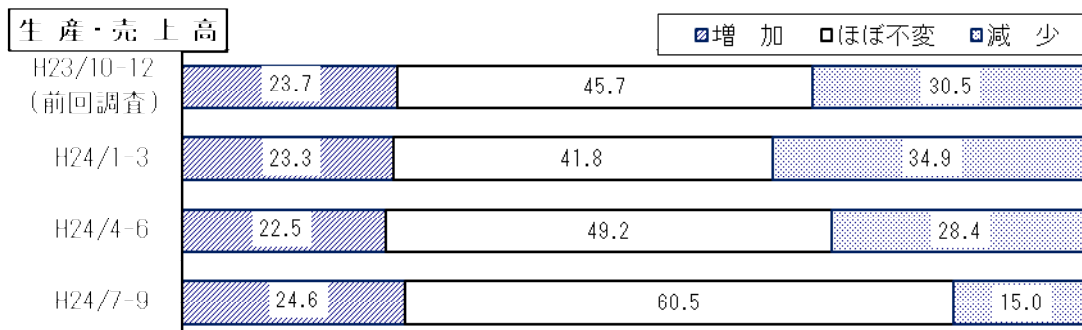


### <業種別>

製造業・非製造業ともに足もとは2ケタのマイナス。製造業では先行きプラスに転じるものの、非製造業では1期先までマイナスが継続する見通し。



### 3. 自社業況 個別判断 売上・経常利益は悪化。



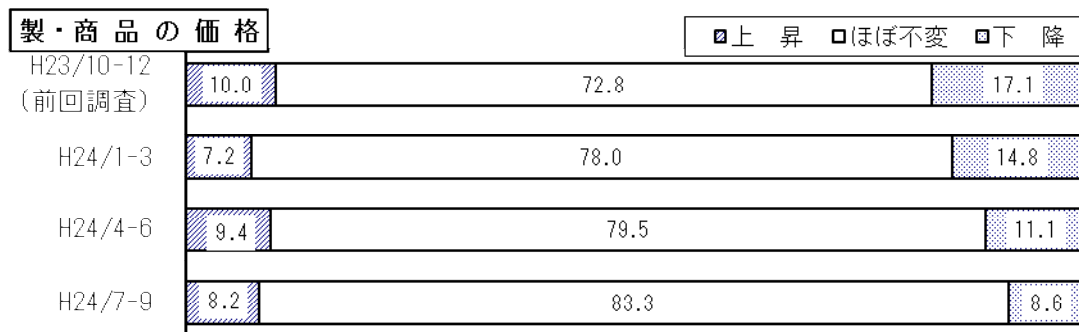
#### <生産・売上高>

1～3月期のBSIは▲11.6と、前回調査(▲6.8)から悪化。先行きも、4～6月期はマイナス局面にとどまる見通し。



#### <経常利益>

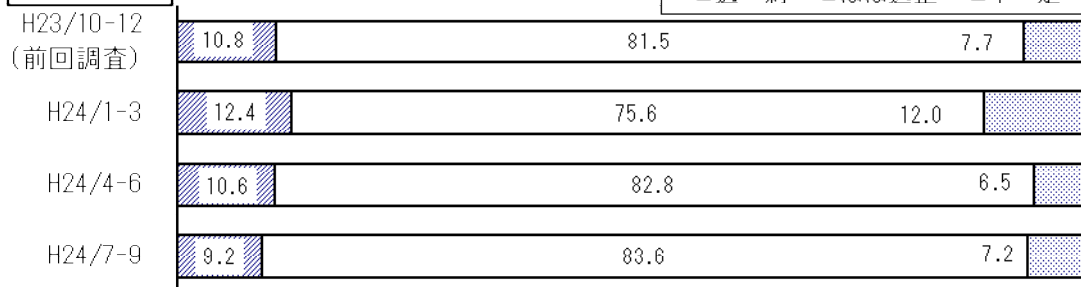
足もとのBSIは▲15.7で、前回調査(▲10.2)から悪化。先行きも、4～6月期は2ケタマイナスが続く見込み。



#### <製・商品の価格>

足もとのBSIは▲7.6。前回調査(▲7.1)からはほぼ横ばいの結果となった。先行きは、マイナス局面ながら改善する見通し。

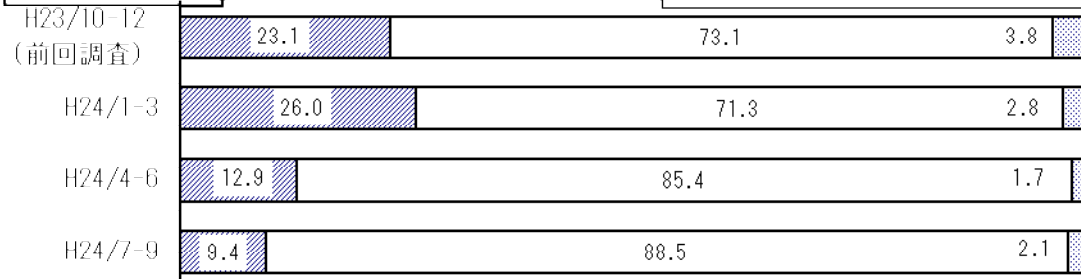
**雇用判断**



**<雇用判断>**

「ほぼ適正」との回答が前回調査よりやや減少したものの、BSI (0.4) はほぼ横ばい (前回調査: 3.1)。先行きも過剰超過が続く見込み。

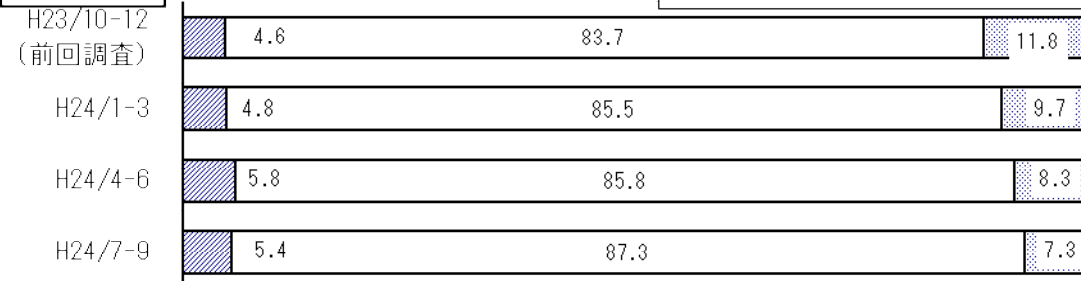
**製・商品在庫**



**<製・商品在庫>**

足もとのBSIは23.2。先行きも、過剰超過が続く見込み。

**資金繰り**

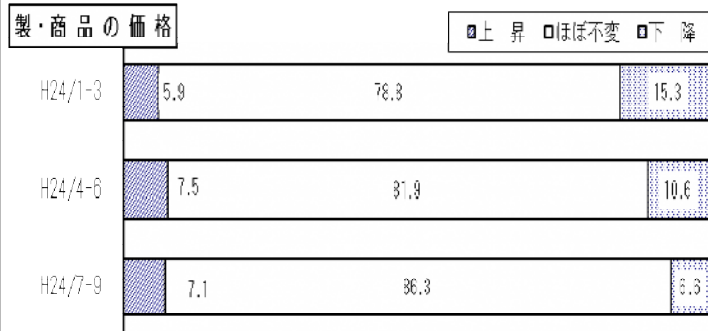
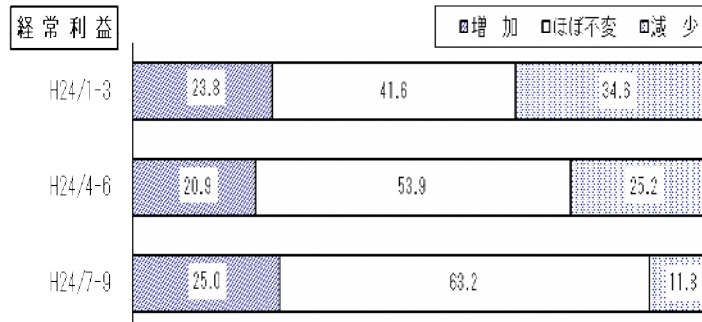
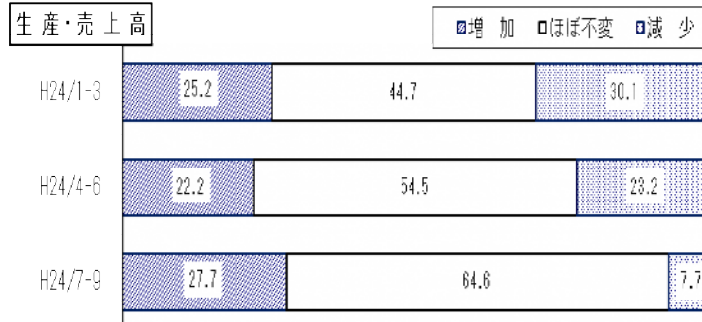


**<資金繰り>**

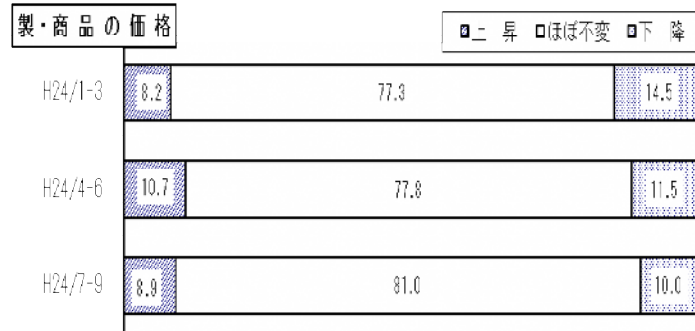
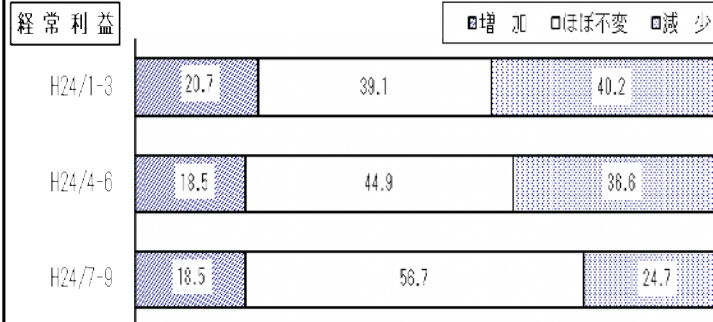
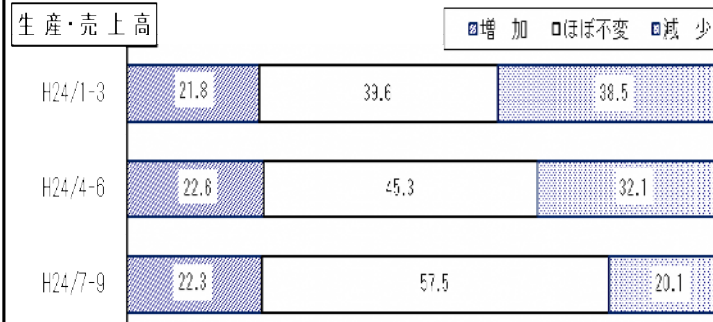
足もと・先行きとも8割以上が「ほぼ不変」としているが、BSIは各期を通じマイナス局面となっている。

## 【参考—個別判断 企業規模別】

### 大企業 自社業況 個別判断



### 中小企業 自社業況 個別判断



#### <生産・売上高>

足もとのBSIは、大企業・中小企業ともマイナス。

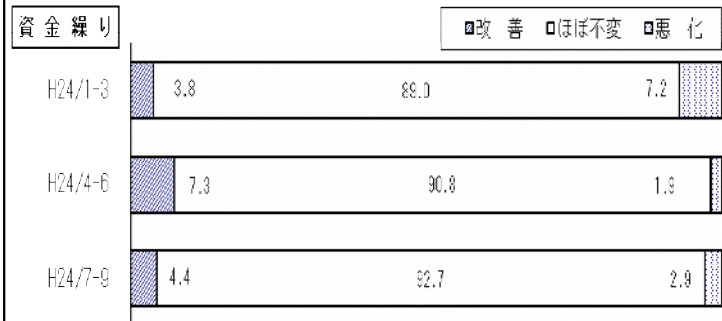
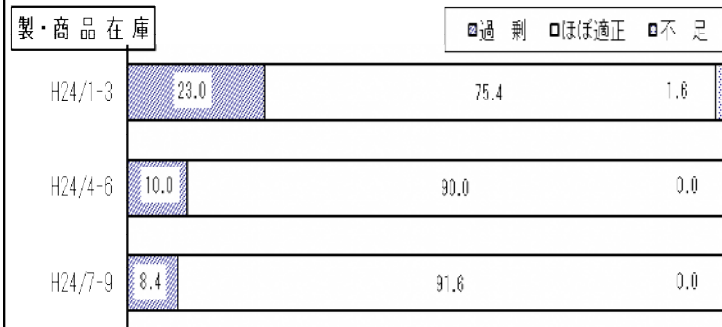
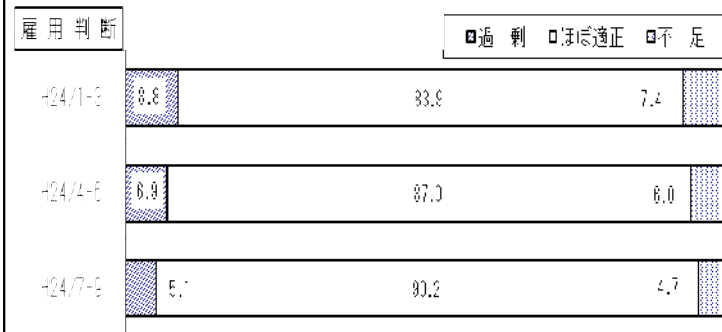
#### <経常利益>

足もとのBSIは、企業規模を問わず2ケタのマイナス。

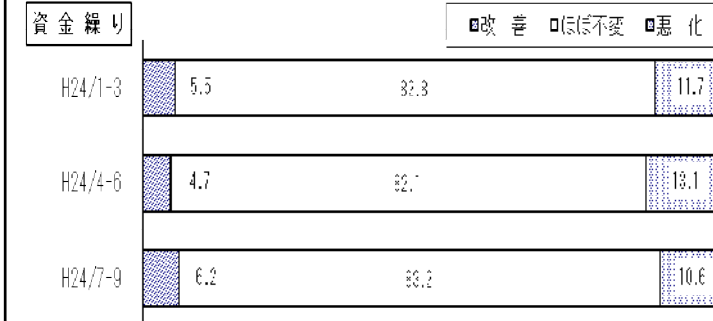
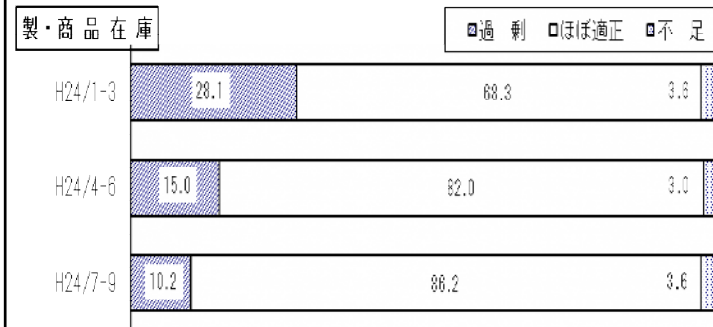
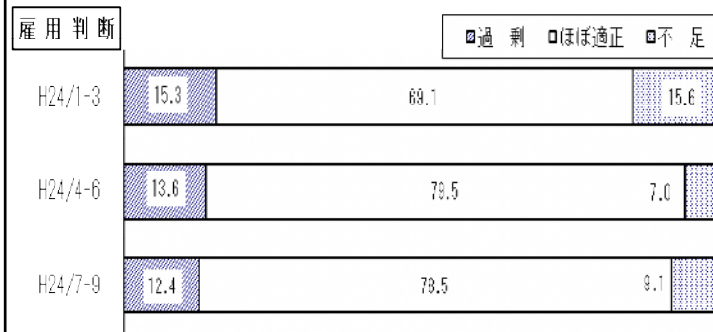
#### <製・商品の価格>

1～3月期は、大企業・中小企業とも価格は下落傾向。

### 大企業 自社業況 個別判断



### 中小企業 自社業況 個別判断



#### <雇用判断>

足もとは、大企業ではやや過剰。中小企業では若干不足傾向。

#### <製・商品在庫>

1～3月期は企業規模を問わず2ケタのプラス（過剰超過）。先行きも過剰超過の傾向は継続する見通し。

#### <資金繰り>

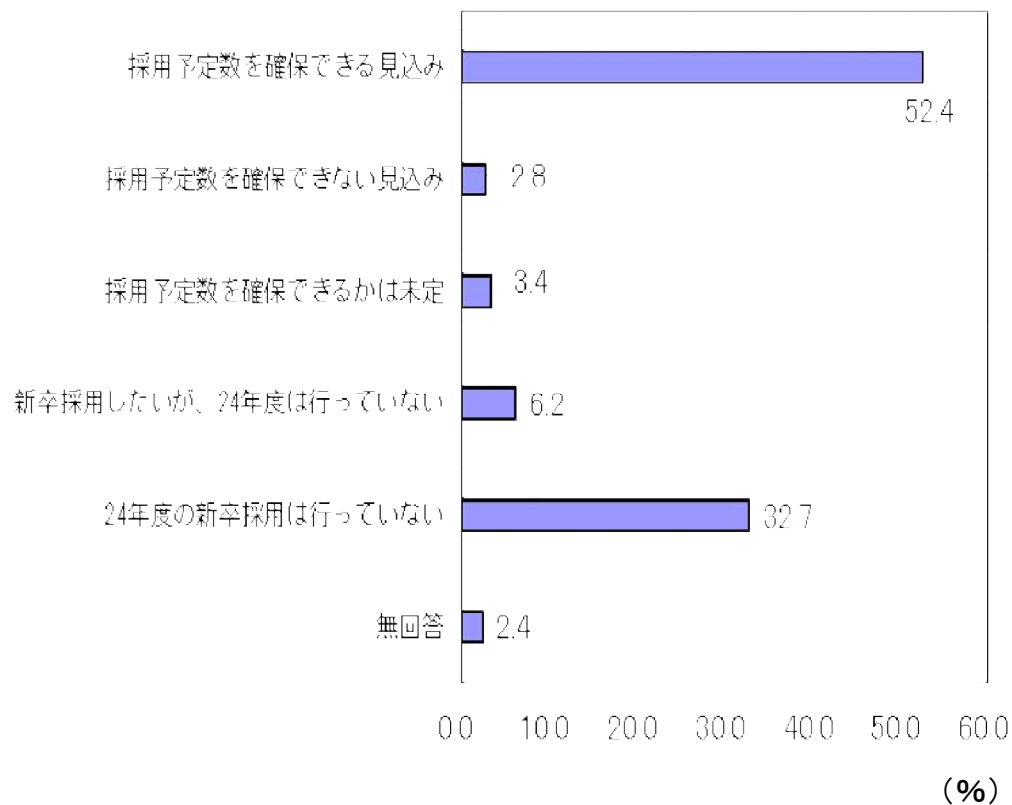
足もとは、大企業・中小企業ともマイナス。先行きは、大企業ではプラスに転じ、中小企業ではマイナスが続く見込み。



## 4. 新卒採用について

### (1) 平成24年度入社について(単数回答)

新卒採用について(平成24年度)



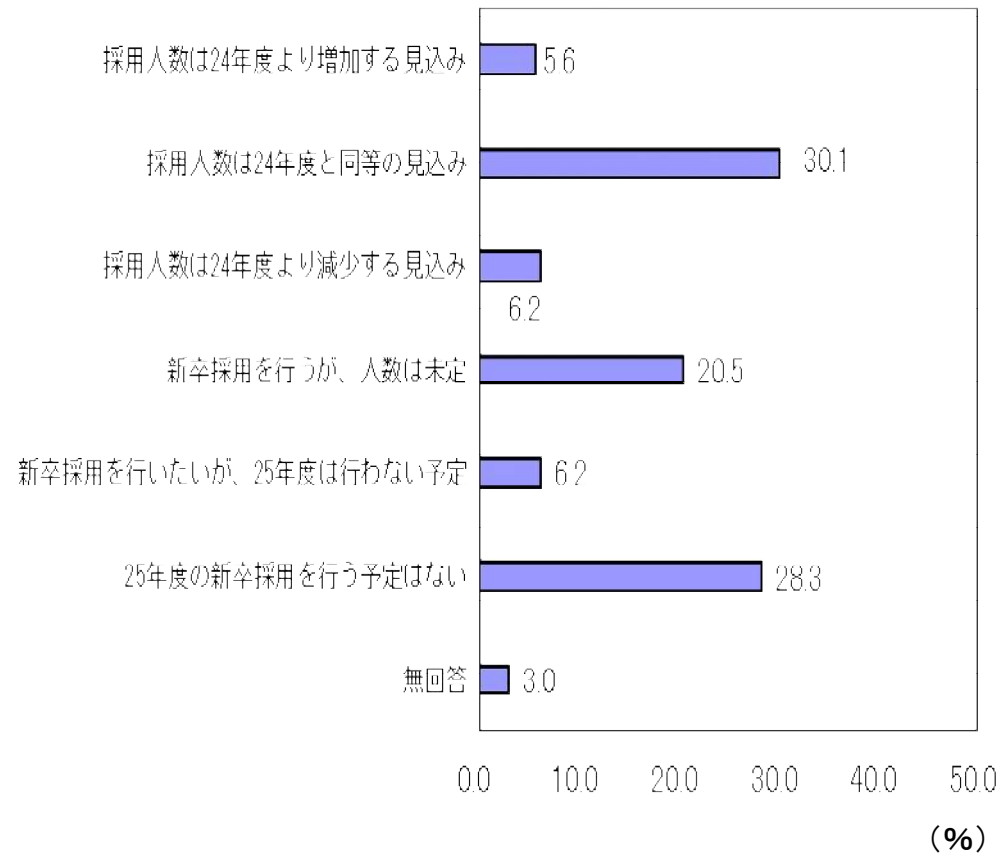
平成24年度(平成24年4月～平成25年3月)に入社予定分の新卒採用について、合計で6割弱(58.6%)が「採用を行っている」と回答した。

「採用予定数を確保できる見込み」との回答は、全体の半数以上(52.4%)を占めた。「採用予定数を確保できない見込み」または「確保できるか未定」との回答は、合わせて一桁台(6.2%)にとどまった。

他方、平成24年度入社分の採用活動を実施していない企業は、約4割(39.0%)。

## (2) 平成25年度入社について(単数回答)

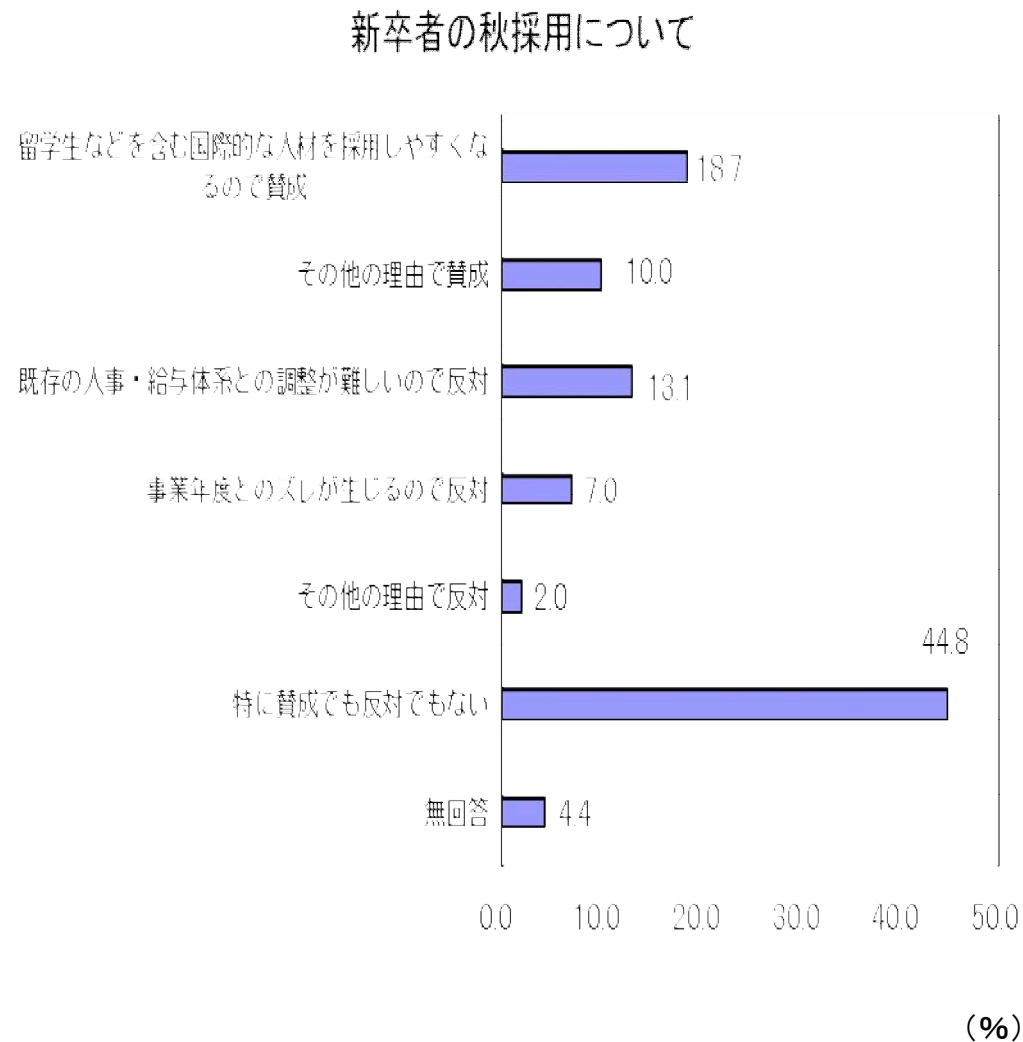
### 新卒採用について(平成25年度)



平成25年度(平成25年4月～平成26年3月入社分)の新卒採用については、6割強(62.4%)が「新卒採用を行う予定」と回答。

採用人数については、約3割(30.1%)が「平成24年度と同等の見込み」と答えた。

### (3) 新卒者の秋採用について(単数回答)



大学の秋入学・卒業が一般的になった場合、企業でも新卒者の秋採用への対応が必要になると考えられるため、これについて賛否を尋ねた。

「特に賛成でも反対でもない(大卒採用を行っておらず、あまり自社には関係がないなど)」との回答はおよそ4割台半ば(44.8%)。

他方、「留学生などを含む国際的な人材を採用しやすくなる」(18.7%)など、「賛成」との回答は3割弱(28.7%)で、「既存の人事・給与体系との調整が難しい」(13.1%)など、「反対」との回答は2割強(22.1%)。現状では、賛成が反対をやや上回っている。

## 【参考－BSI値の推移】

◎大阪商工会議所・関西経済連合会「経営・経済動向調査」 BSIの推移							
回数・時期		国内景気			自社業況		
		足元	3カ月後	6カ月後	足元	3カ月後	6カ月後
1	2001年3月	▲ 56.4	▲ 33.1	▲ 9.8	▲ 21.6	▲ 17.7	▲ 0.9
2	2001年6月	▲ 44.2	▲ 23.5	6.7	▲ 31.7	▲ 6.8	9.5
3	2001年9月	▲ 78.6	▲ 58.1	▲ 37.7	▲ 44.8	▲ 27.9	▲ 21.7
4	2001年12月	▲ 69.8	▲ 59.3	▲ 26.8	▲ 38.4	▲ 30.9	▲ 17.4
5	2002年3月	▲ 66.1	▲ 33.7	▲ 11.5	▲ 37.6	▲ 20.1	▲ 3.2
6	2002年6月	▲ 7.0	6.4	31.0	▲ 19.9	▲ 2.5	15.6
7	2002年9月	▲ 19.0	▲ 4.4	2.0	▲ 15.8	▲ 5.5	▲ 3.1
8	2002年12月	▲ 39.0	▲ 40.5	16.1	▲ 7.9	▲ 18.8	▲ 10.8
9	2003年3月	▲ 40.3	▲ 26.7	▲ 12.8	▲ 16.9	▲ 19.1	▲ 7.2
10	2003年6月	▲ 36.0	▲ 26.1	▲ 5.0	▲ 25.1	▲ 10.9	4.3
11	2003年9月	6.1	20.8	16.8	▲ 5.2	13.2	7.8
12	2003年12月	27.1	16.6	27.5	12.3	3.5	6.6
13	2004年3月	30.7	37.0	32.9	5.5	8.1	13.0
14	2004年6月	40.5	34.6	35.6	6.8	18.3	22.3
15	2004年9月	35.0	29.3	15.0	14.0	15.2	5.7
16	2004年12月	13.5	▲ 9.6	4.5	7.1	4.8	4.6
17	2005年3月	▲ 10.0	5.5	15.7	▲ 3.0	3.2	16.5
18	2005年6月	9.2	12.9	28.2	▲ 1.1	11.0	19.9
19	2005年9月	24.0	27.6	23.0	4.1	18.8	16.8
20	2005年12月	47.5	38.8	36.3	16.9	20.5	13.9
21	2006年3月	40.7	46.5	39.8	14.3	15.4	19.9
22	2006年6月	41.1	39.0	30.6	7.4	20.0	25.1
23	2006年9月	35.3	34.5	18.7	8.4	22.7	14.4
24	2006年12月	30.2	15.5	15.6	20.7	13.0	12.8
25	2007年3月	20.4	29.7	24.9	7.3	16.0	20.9
26	2007年6月	15.1	19.8	22.0	▲ 0.2	15.5	24.7
27	2007年9月	3.6	13.5	10.2	▲ 1.2	11.6	12.1
28	2007年12月	▲ 15.9	▲ 22.1	▲ 10.1	3.7	▲ 2.0	▲ 0.2
29	2008年3月	▲ 43.9	▲ 35.1	▲ 18.8	▲ 15.6	▲ 12.9	▲ 2.6
30	2008年6月	▲ 48.6	▲ 44.6	▲ 32.4	▲ 22.6	▲ 17.5	▲ 6.9
31	2008年9月	▲ 66.2	▲ 55.8	▲ 42.2	▲ 27.9	▲ 17.7	▲ 17.4
32	2008年12月	▲ 83.1	▲ 78.4	▲ 56.9	▲ 41.7	▲ 42.4	▲ 33.4
33	2009年3月	▲ 87.9	▲ 65.3	▲ 39.2	▲ 63.9	▲ 52.6	▲ 36.2
34	2009年6月	▲ 42.2	▲ 19.6	8.5	▲ 46.5	▲ 23.0	▲ 1.3
35	2009年9月	▲ 16.6	▲ 5.0	1.7	▲ 24.4	▲ 11.1	▲ 10.2
36	2009年12月	▲ 16.8	▲ 23.6	▲ 5.4	▲ 14.2	▲ 23.6	▲ 16.8
37	2010年3月	▲ 9.9	▲ 1.4	8.6	▲ 19.3	▲ 12.2	0.2
38	2010年6月	4.5	5.3	18.7	▲ 6.5	▲ 0.2	12.8
39	2010年9月	▲ 17.1	▲ 20.2	▲ 17.0	▲ 10.6	▲ 6.3	▲ 10.0
40	2010年12月	▲ 18.5	▲ 15.9	3.7	▲ 9.9	▲ 14.4	▲ 0.2
41	2011年3月	5.3	6.9	9.8	▲ 1.6	1.4	5.0
42	2011年6月	▲ 57.1	▲ 13.0	17.0	▲ 24.4	▲ 9.2	10.7
43	2011年9月	▲ 9.5	2.0	5.7	▲ 8.0	8.0	2.1
44	2011年12月	▲ 26.4	▲ 17.2	0.0	▲ 9.4	▲ 10.4	2.1
45	2012年3月	▲ 8.5	14.3	17.2	▲ 12.2	1.0	10.1

国内景気判断と自社業況判断の推移

